

## 1. セクション 1: 物質/混合物の名称および企業の名称

1.1	<b>製品識別名</b>	
	製品名	M-Coat FB
	化学物質名	混合物。
	CAS 番号	割り当てられていない。
	EINECS 番号	割り当てられていない。
	REACH 登録番号	割り当てられていない。
1.2	<b>当該物質または混合物の記載されている重要用途および 指導対象の用途</b>	
	記載されている用途	PC9b 充填剤、パテ (しっくい)
	~ に対して助言された用途	知られていない。
1.3	<b>安全性データシート供給者の詳細</b>	
	会社情報	VISHAY MEASUREMENTS GROUP UK LTD Stroudley Road Basingstoke Hampshire イギリス RG24 8FW +44 (0) 1256 462131 +44 (0) 1256 471441 mm.uk@vishaypg.com
	電話	
	F a x	
	E メール(担当者)	
1.4	<b>緊急電話番号</b>	(00-1) 703-527-3887 CHEMTREC

## 2. セクション 2: 危険有害性の要約

2.1	<b>物質または混合物の分類</b>	
2.1.1	<b>欧州 CLP 規則 ( No.1272/2008 )</b>	供給/使用に対して危険物に分類されていない。
2.2	<b>表示要素</b>	欧州 CLP 規則 ( No.1272/2008 ) によれば
	製品名	M-Coat FB
	危険性を表す絵文字	割り当てられていない。
	注意喚起語	割り当てられていない。
	危険有害性情報	割り当てられていない。
	危険有害性情報	割り当てられていない。
2.3	<b>他の危険有害性</b>	なし。

### 3. セクション 3: 組成/成分情報

#### 3.1 物質

EC 分類 欧州CLP規則 (No.1272/2008)

物質の化学的特定名	CAS 番号	EC 番号	REACH登録番号
Isobutylene/Isoprene/Butene/Mineral Filler Blend	-	-	割り当てられていない。

#### 3.2 混合物 該当なし。

### 4. セクション 4: 応急処置



#### 4.1 応急処置の説明

吸入

予想外の暴露経路。(固体。)

皮膚接触

石鹼と水で皮膚を洗う。皮膚が刺激された場合: 医師の診断/手当てを受けること。

目の接触

まぶたを開けた状態で洗眼液または清潔な水で目を洗い、粒子を取り除く。目の刺激が続く場合、医師の診断/手当てを受けること。

摂取

悪い症状が現れたら、医師の治療を受ける。

#### 4.2 最も重要な症状および作用 (急性および遅発性)

皮膚および眼の機械的刺激。

#### 4.3 医師の手当てと特別な処置が直ちに必要な状態

必要とは思われないが、必要であれば症状に基づいて処置する。

### 5. セクション 5: 火災時の措置

#### 5.1 消火剤

適切な消火剤

望ましくは、粉末消火器、砂、泡または炭酸ガスで消火する。

不適切な消火剤

ウォータージェットを使用しない。火災が広がる可能性があります。

#### 5.2 当該物質または混合物に起因する特別な危険性

火災の時分解されて、有毒な煙を発生することがある。炭素酸化物。

#### 5.3 消防士へのアドバイス

消火作業員は自給式呼吸器を含む完全な保護服を着用すること。ヒュームの吸入を避ける。火災の場合、容器に水を噴霧して冷却する。水路や下水への混入を避けること。

### 6. セクション 6: 漏出時の措置

#### 6.1 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

長期的な皮膚接触が予想される場合、適当な手袋を着用する。取扱後は手を完全に洗うこと。

#### 6.2 環境的予防措置

水路や下水への混入を避けること。

#### 6.3 封じ込めと清掃のための方法および資材

漏洩物を直ちに清掃すること。廃棄用の容器に移す。可能な限り、回収または

改訂: 1.1 日付: 20.08.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) &amp; 2015/830 によれば

www.vpgsensors.com

- 6.4 他のセクションの参照先  
リサイクルすること。  
次の項を参照: 8, 13

## 7. セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

- 7.1 安全な取り扱いのための注意事項  
長期的な皮膚接触が予想される場合、適当な手袋を着用する。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。ヒュームの吸入を避ける。取扱後は手を完全に洗うこと。本製品を取り扱っているときに、飲食、喫煙を行なってはならない。
- 7.2 安全な貯蔵のための条件 (不適合条件を含む)  
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。高温、着火源および直射日光を避けること。
- 保管温度  
常温の。
- 保管期間  
普通の状態安定。
- 混触危険物質  
次のものから離して保管する。強い。酸類。
- 7.3 具体的最終用途  
PC9b 充填剤、パテ (しっくい)。

## 8. セクション 8: 暴露防止及び保護措置

- 8.1 管理指標
- 8.1.1 職業暴露限度  
確立されていない。
- 8.1.2 生物学的限界値  
確立されていない。
- 8.1.3 PNEC および DNEL  
確立されていない。
- 8.2 暴露管理
- 8.2.1 適切な工学的管理  
適切な換気を確保する。
- 8.2.2 個人用保護具 (PPE) などの個人保護措置  
必要な個人用保護具を使用する。再使用する前に汚染された衣類を洗濯する。ヒュームの吸入を避ける。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。この物質を使った後は、十分に手を洗浄してください。
- 目/顔面の保護  
側板付き保護めがね (EN166) を着用すること。
- 皮膚の保護  
不浸透性手袋を着用すること。
- 呼吸器の保護  
室内が十分換気されていれば呼吸用保護具は必要ない。



改訂: 1.1 日付: 20.08.2015

www.vpgsensors.com

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) &amp; 2015/830 によれば

熱の危険性

該当なし。

8.2.3 環境暴露コントロール

環境に排出しないようにする。

## 9. セクション 9: 物理的および化学的性質

### 9.1 基本的な物理化学的特性についての情報

外観	灰色/黒色。有色の固体。
におい	ほとんどにおいのない。
臭いの閾値	該当なし。
pH	確立されていない。
融点/凝固点	該当なし。
初留点と沸騰範囲	確立されていない。
引火点	該当なし。
蒸発速度	該当なし。
燃焼性 (固体、ガス)	非引火性。
上限/下限可燃性または爆発限界	該当なし。
蒸気圧	該当なし。
蒸気密度	該当なし。
相対密度	1.5 – 1.7 (H <sub>2</sub> O = 1)
溶解度	無視してよい。(水)
分配係数: n-オクタノール/水	確立されていない。
自然発火温度	資料なし。
分解温度	資料なし。
粘度	該当なし。固体。
爆発性	非爆発性。
酸化性	非酸化性。

### 9.2 その他の情報

なし。

## 10. セクション 10: 安定性および反応性

10.1 反応性	普通の状態安定。
10.2 化学的安定性	普通の状態安定。
10.3 危険な反応の可能性	有害な重合は起こりません。
10.4 避けるべき条件	熱源、炎から離して保管する。
10.5 混触危険物質	次のものから離して保管する。強い。酸類。
10.6 危険有害性分解生成物	火災の時分解されて、有毒な煙を発生することがある。炭素酸化物。

## 11. セクション 11: 有害性情報

### 11.1 毒性に関する情報 (製剤/混合物中の物質)

#### 急性毒性

摂取

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

吸入

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

皮膚接触

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

目の接触

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

刺激性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

腐食性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

感作性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

反復投与毒性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

発がん性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

変異原性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

生殖毒性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

### 11.2 その他の情報

なし。

## 12. セクション 12: 環境影響情報

### 12.1 毒性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

推定 混合物。LC50 >100 mg/l (魚類)

### 12.2 残留性および分解性

データなし。

### 12.3 生物蓄積性

データなし。

### 12.4 土壌中の移動度

この物質は土壌中での移動性が低いと予想される。この物質は土壌と堆積物に吸収されることがある。

### 12.5 PBT および vPvB 評価の結果

PBT または vPvB に分類されない

### 12.6 その他の有害な作用

知られていない。

## 13. セクション 13: 廃棄上の注意

### 13.1 廃棄物処理法

内容物を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。

### 13.2 追加情報

なし。

## 14. セクション 14: 輸送上の注意

危険物輸送に関する UN 勧告(the United Nations 'Recommendations on the Transport of Dangerous Goods')によれば、分類されていない。

ADR/RID / IMDG / IATA

### 14.1 国連番号

割り当てられていない。

### 14.2 適切な船積み名

割り当てられていない。

### 14.3 輸送危険分類

割り当てられていない。

改訂: 1.1 日付: 20.08.2015

www.vpgsensors.com

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) &amp; 2015/830 によれば

14.4	輸送危険分類	割り当てられていない。
14.5	環境に対する危険	海洋汚染物質として分類されていない。/環境的に有害な物質。
14.6	使用者に対する特別な注意事項	次の項を参照: 2
14.7	MARPOL 73/78 Annex II および IBC コードに準拠したバルク輸送	該当なし。
14.8	追加情報	なし。

## 15. セクション 15: 適用法令

15.1	特に当該物質または混合物に関する安全性、健康および環境についての規制/法律	
15.1.1	EU規制	
	高懸念物質 (SVHCs)	なし。
	使用の承認および/または制限	なし。
15.1.2	国の規制	
	Wassergefahrdungsklasse(ドイツ)	無害の原料
15.2	化学物質安全性評価	資料なし。

## 16. セクション 16: その他の情報

以下の項には改訂または新しい内容が含まれる: 1-16.

参考文献: 既存の安全データシート(SDS).

### 注釈

LTEL	長期暴露限界
STEL	短時間暴露限界
DNEL	求められた無影響量
PNEC	推定無影響濃度
PBT	PBT: 難分解性、生物蓄積性、毒性
vPvB	v P v T: 高難分解性、高毒性

研修アドバイス: 検討事項は、より高度なレベルの予防が必要になるかどうか決定するため、作業手順に関わることや将来的な被曝の程度に影響を及ぼします。

### 免責事項

記載の情報もしくは他の方法で提供された情報は最善の知見に基づき、誠意を持って提供しております。使用者は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じ、適切な措置をお取り扱い願います。Vishay Precision Group はいかなる用途に対しても製品の適合性に関して保証するものではありません。法による場合を除き、暗黙の保証や条件(法的なあるいはそうでない)はございません。Vishay Precision Group

改訂: 1.1 日付: 20.08.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) &  
2015/830 によれば

---

[www.vpgsensors.com](http://www.vpgsensors.com)

は、この情報に起因する損失または損害の責任を負うものではありません ( 欠陥製品が原因で死亡もしくは負傷し、そのことが証明された場合を除き )。特許、著作権および意匠のもと自由な使用权があるということではありません。

**拡張安全性データシート(eSDS) の付録**

利用可能な情報なし。